



低損失タイプで省エネ

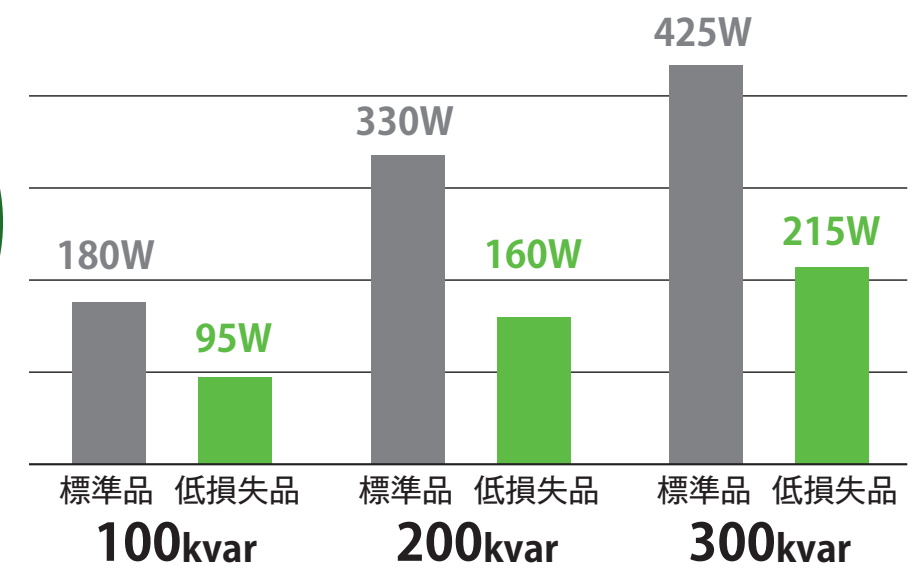


低損失で高効率

損失とは、電力を流したときに一部有効に使われず、熱として逃げてしまうことです。損失が低いほど逃げる電力が少なくなり、効率よく電力を使うことができます。

シヅキの低損失タイプの製品は消費電力量を節約し、省エネをサポートします。

約 $\frac{1}{2}$ 節約



当社標準品容量6600V 60Hz の損失比較

(油入自冷式直列リアクトルLR-S形 L=6%)



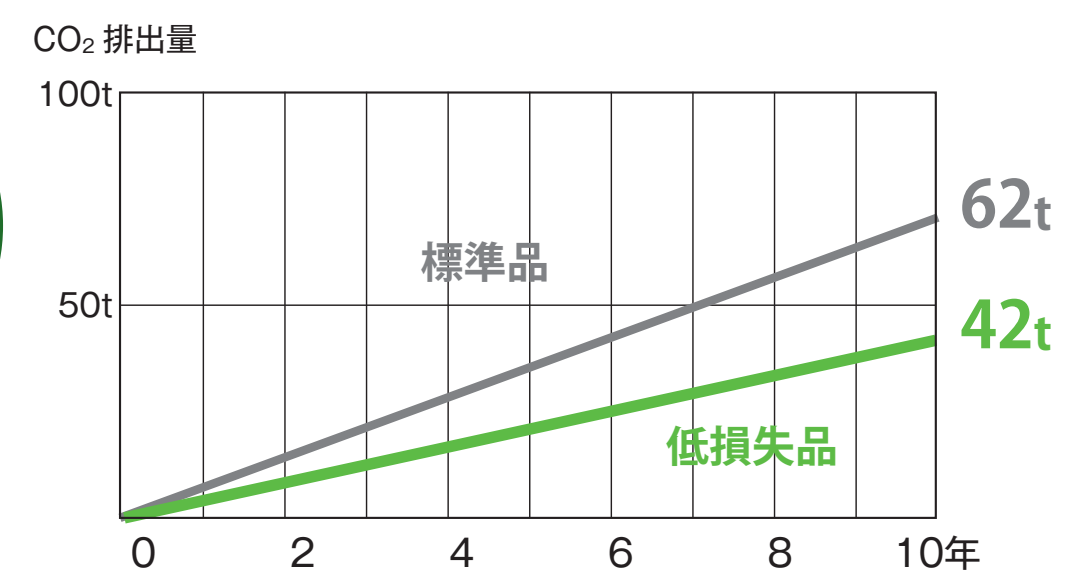
カーボンニュートラルに貢献

10年間、標準品と低損失タイプを使い続けた場合のCO₂排出量は、20T差が出ます。

コンデンサは負荷率100%で連続運転します。

消費電力の低い低損失タイプの製品を使用すれば、CO₂削減に貢献します。

約 **20t** の差



10年間使用した場合のCO₂排出量比較 (イメージ)

(例: 設備容量 50Hz 300kvar 3set、稼働時間24h × 365日 × 10年)

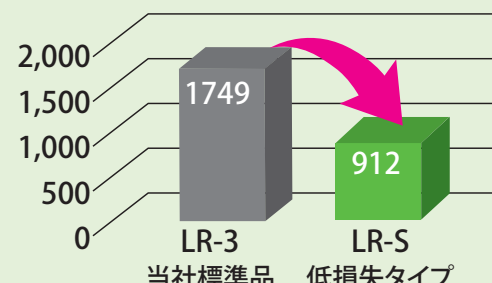
高圧コンデンサ設備をご採用の際は低損失タイプをご選定ください!

製品ラインナップ

油入自冷式直列リアクトル LR-S形



標準品に比べて、
(LR-3形)
CO₂は48%削減



CO₂換算kg/年 稼働時間8,760h (1年)
※50Hz 300kvarの比較

CO₂削減効果



普通自動車 **3,005km** 走行分

東京-大阪間 **3往復**

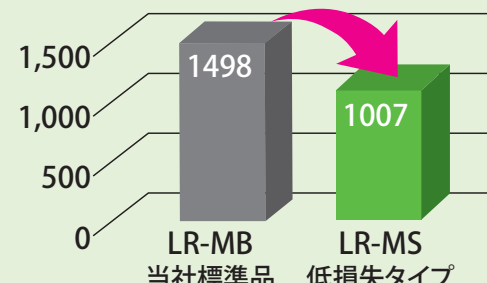


一般家庭のCO₂排出量の **3.5ヶ月分**

乾式モールド式直列リアクトル LR-MS形



標準品に比べて、
(LR-MB形)
CO₂は33%削減



CO₂換算kg/年 稼働時間8,760h (1年)
※50Hz 300kvarの比較

CO₂削減効果



普通自動車 **2,237km** 走行分

東京-大阪間 **1.5往復**

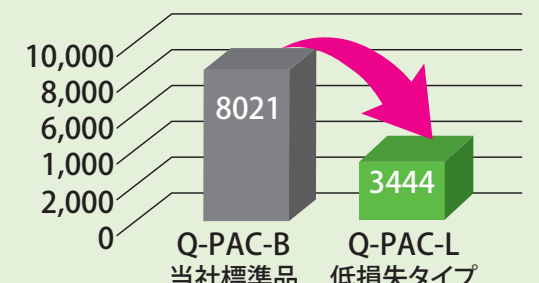


一般家庭のCO₂排出量の **2ヶ月分**

高圧進相コンデンサ設備 Q-PAC-Lシリーズ



標準品に比べて、
(Q-PAC-B)
CO₂は58%削減



CO₂換算kg/年 稼働時間8,760h (1年)
※50Hz 300kvarの比較

CO₂削減効果



普通自動車 **20,864km** 走行分

東京-大阪間 **16往復**



一般家庭のCO₂排出量の **1年8ヶ月分**

※2019年度 世帯当たり年間CO₂排出量(環境省公表): 2.72tで試算。

※CO₂排出係数(東京電力2021年度実績): 0.434kg-CO₂/kWhで試算。

※ガソリンのCO₂排出係数: 2.32kg/L、普通自動車の燃費: 8.33km/L、東京-大阪間を500kmで試算。

